京都府 報道発表資料

募集のお知らせ

府政記者室、教育記者クラブ　同時資料配付

令和８年 11 月 10 日

国の重要文化財「京都府庁旧本館」を後世へ

～窓枠補修に係るガバメントクラウドファンディングの寄附募集期間を延長～

■京都府では、重要文化財である旧本館を長く保存・活用していくため、「京都府庁旧本館」窓枠補修に係るクラウドファンディングを募集しています。
■ふるさとチョイス GCF の寄附ホームページが再開されたことに伴い、寄附募集期間を 11 月 30 日まで延長しますので、周知へのご協力をお願いします。

国内外から多くの方が訪れる「京都府庁旧本館」について、来庁者の安全性・快適性の向上と貴重な歴史的建築物の保存・継承を図るため、ガバメントクラウドファンディングを活用して支援を募り、府民に開かれた府庁のシンボルとして次の 100 年へ引き継ぐ。

１　プロジェクト名

重要文化財「京都府庁旧本館」120 年の窓辺を、次の 100 年へ。
― いま守らなければ、開けられない窓があります ―

２　寄附募集期間

（延長後）令和８年８月３日（月）から令和８年 11 月 30 日（月）まで
（延長前）令和８年８月３日（月）から令和８年 10 月 31 日（土）まで

３　最終目標金額

1,000 万円（第１目標金額は、300 万円）

４　寄附金の使用用途

旧本館の２階廊下中庭側の窓枠補修に係る経費
・窓枠劣化により近年は窓の開閉を禁止しているが、今回の改修により春の観桜祭（3 月下旬～4 月上旬）の時期等に、窓を開けて中庭の桜を鑑賞したり写真撮影をしたいという来館者の要望に応えることができる。

５　寄附の方法

① 京都府ホームページからの寄附
「重要文化財「京都府庁旧本館」120 年の窓辺を、次の 100 年へ。」
https://www.pref.kyoto.jp/qhonkan/crowdfunding.html

② ふるさとチョイス GCF からの寄附
株式会社トラストバンク「ガバメントクラウドファンディング®」を利用
https://www.furusato-tax.jp/gcf/5343
※ふるさとチョイス GCF からの寄附は、11 月６日（金）に再開。

６　参考

ガバメントクラウドファンディングのため返礼品はありませんが、寄附金は当該プロジェクトに活用されます。また、５万円以上の御寄附をいただいた方のうち、希望される方は、京都府ホームページに氏名を掲載します。

（次頁あり）

＜参考：京都府庁旧本館の窓枠の状況について＞

経年劣化により、窓ガラスを固定しているパテや部材等の損傷が進んでおり、開閉することで、窓枠やガラスが破損するおそれもあるため、近年は窓の開閉を禁止している。

＜参考：重要文化財「京都府庁旧本館」について＞

明治 37 年（1904 年）12 月 20 日竣工のレンガ造の建物。昭和 46 年（1971 年）まで京都府庁の本館として、また、現在も執務室や会議室として使用されている。創建時の姿をとどける現役の官公庁建物としては日本最古であり、平成 16 年（2004 年）には国の重要文化財に指定されている。

現在も一般公開を行っており、結婚式の前撮りやドラマ撮影、その他催し等で、幅広い利用がある。春には中庭の桜を求め、来館者が大勢訪れる。

＜参考：ガバメントクラウドファンディング®（GCF®）について＞

2013 年 9 月にトラストバンクが提供を開始した、クラウドファンディング型でふるさと納税を募る仕組み。自治体がプロジェクトオーナーとなり、地域課題とその解決策、必要な寄付金額や使い道を明示して発信し、共感を得ることで寄付を集める。寄付者は自らの意思で寄付金の使い道を選択でき、地域課題を知るきっかけとなるとともに、地域への継続的な関心や関係人口の創出につながる。「2019 年度グッドデザイン賞」受賞。

サイト URL： https://www.furusato-tax.jp/gcf/

※ガバメントクラウドファンディング®および GCF®は、株式会社トラストバンクの登録商標です。

【本報道発表に関するお問合せ】
総務部府有資産活用課　課長　小林　　TEL 075-414-5445
参事　久保　　TEL 075-414-5447

